

令和三年度 奈良県教育長賞

必要不可欠な存在

育英西高等学校 二年 中村 紗彩

二〇一一年の東日本大震災。二〇一六年の熊本地震。二〇一八年の西日本豪雨。私が生きてきた、たった十七年間の間にこれらの大災害が起こった。しかし起こった災害は決してこれだけではない。これらの災害の他にもあらゆる規模の災害が起こった。そして日本は、大雨や大型台風、地震などによる災害が毎年のようにどこかで起こり続けている。

地震による被害には、津波をはじめ、建物倒壊、火災の発生、土砂崩れなどがある。また、豪雨による被害には、洪水、がけ崩れ、地すべりなどがある。東日本大震災や西日本豪雨も地震や津波、大雨の被害などによって家が壊れたり道路が崩れたりするなどの大規模な被害が発生した。そういった災害からの復興には税金が使われている。また、災害時に必要不可欠な存在である消防や警察、自衛隊の活動も税金により成り立っている。

災害からの復興や自衛隊の活動に税金が使われているということを初めて知ったときは自分の税に関する考え方が大きく変わった。それまでは税金の使い道もはっきりと分かっておらず「なぜ消費税を増やすのか」「なぜ多額の年俸のスポーツ選手達は給料から多くの税金を支払わなければならないのか」などの容易な考え方しかしていなかった。けれど税の使い道を知ったあとは、税の大切さを感じる事ができた。自衛隊は私達が払った税によって活動できる。災害によって被害に遭い、自衛隊に助けられた人は少なくないはずだ。

私は今まで地震や豪雨などの大きな災害の被害にあったことがない。だが、日本は地震の多い国だ。日本に住む以上は地震や火山の噴火なども含めた自然災害は他人事ではない。いつか起こるであろうとされている東日本大震災や阪神淡路大震災などの被害を遥に超えるものと想定されている南海トラフが本当にやってきた場合、家や道路の崩壊など、多くの被害が出るだろう。そのときにも、仮設住宅の建設や道路の補修、がれきの撤去などの復興や自衛隊の活動などが必要だ。つまり、税金を納めることはとても重要なことなのだ。

また、税金は上下水道の整備や道路の整備にも使われている。顔を洗ったり、お風呂やトイレなど、水を毎日使うことができたり、安全に通学や通勤ができているのは税のおかげでもあるのだ。何気なくしている行動や日常にも税金が絡んでいたり、私達は税金のおかげで過ごしている部分も多いのではないだろうか。

つまり、国民全員が幸せに暮らしていくためにも税金は必要不可欠なのである。